



菊池 雄星 投手

Profile.

1991年・盛岡市生まれ。2009年、花巻東高校のエースとして県勢初のセンバツ準優勝をけん引。同年、埼玉西武ライオンズ入団。2017年、花巻市スポーツ栄光賞を受賞。2019年からメジャーリーグを舞台に活躍中。

「花巻市民へメッセージを。」
 菊池 2009年の光景は僕が忘れられなくて。たくさん応援から力をいただきました。野球以外のスポーツのパブリックビューイングも予定しています。みんなで遊びに来てもらう。地域のコミュニティの場所になればいいと思います。

「完成までの道のりは。」
 菊池 施設の構想を本格的に始めたのは2022年。ブルージェイズ1年目に先発から中継ぎに回ったとき「メジャーで投げられなくなる」という危機を感じたんです。帰国時もトレーニングに打ち込む場所が必要と考え、練習施設を建てることにしました。自分だけが使うのではなく、「年代を超えて地域の人が集まる場所」になればいいなという思いを込めました。思い描

「岩手・花巻への思いは。」
 菊池 岩手にいながらも日本で一番メジャーリーグを想像できるようなところにしたかったんです。子どもが見てわくわくできる、野球が好きになることをイメージして集めました。

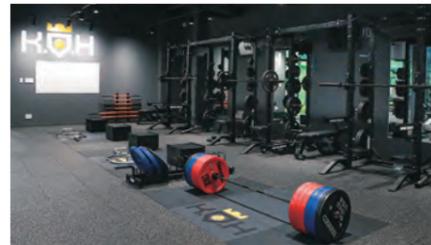
「来年への意気込みは。」
 菊池 1年間ローテーションを守って投げ続けることが一番難しいこと。高いパフォーマンスを出せるよう、しっかりと体づくりに取り組みたいですね。

「一問一答」
2009年の光景は忘れられない。成長できた花巻の地に貢献を
 いたものがしつかりと反映された施設になったと思います。
 「自らが集めたメジャーリーガーのサインやグッズが展示された。」
 菊池 本場に岩手が好きなんです。2009年に自分たちが春夏の甲子園で勝ち上がった、岩手が野球で一つになっていくの身に染みて感じました。花巻東高校に来てなければメジャーでプレーすることもなかったと思うし、可能性を大きく伸ばしてもらった場所です。岩手の人にはたくさん応援をいただいで、いつか何かしらの形で恩返ししたいと思っていました。

「来年への意気込みは。」
 菊池 1年間ローテーションを守って投げ続けることが一番難しいこと。高いパフォーマンスを出せるよう、しっかりと体づくりに取り組みたいですね。



▲投球用のブルペン



▲ウエイトトレーニング室



▲打撃エリア。眼鏡型の測定機器では打者の目線を確認できる

「King of the Hill」(キング・オブ・ザ・ヒル) K.O.H.」が建設されたのは、菊池雄星投手が高校時代を過ごした花巻東高校の野球グラウンド南側。鉄骨造平屋建て約1400平方メートルの施設には、最大3人が投球できるブルペン、2レーンの打撃エリア、ウエイトトレーニング室、休息用のサウナ、メジャーリーグのサインやグッズが飾られたカフェなどが備えられました。メジャーリーグでも使用されているバッ

ティングマシンや投球の回転数などを計測できる最新機器も導入されています。建設費は全額菊池投手が出資しました。
 キング・オブ・ザ・ヒルは「マウンドの王様」を意味し、メジャーリーグでは投手のことを特別な敬意を払って呼ぶことに由来します。日本での練習場所を模索し、「最初はブルペンとトレーニング室さえあれば」と始まった構想でした。「あれもこれもとどんどんふくらみ、年代を超えて地域の人が集まる場

特集 「花巻から世界へ」夢を後押し 「King of the Hill」オープン



▲カフェラウンジの壁面をはじめ、メジャーリーガーのサインボールや写真が多数展示されている

所を目指した」ことを明かす菊池投手。「ここから『キング・オブ・ザ・ヒル』を」という願いが施設名に込められています。
 施設は菊池投手の呼びかけで集まった指導者ら社員で構成する合同会社K.O.H.が運営。12月から幼児、小中学生を対象とした野球スクールが開講します。「スクールは週1回の指導となるので、体を鍛える以外の時間をどう使うか考える力を養うことが最も重要」と説く菊池投手。「子どもたちには『あの人ができたんだから、僕もできる』と思ってもらいたい。K.O.H.を卒業した子どもたちには、野球だけでなく、社会のリーダーとして活躍する人材になってほしい」と期待を寄せます。



King of the Hill

当面の間、野球スクールおよびパーソナルトレーニングのみの利用となります。

野球スクールの申し込み、パブリックビューイングのイベント情報など、詳しくはK.O.H.ホームページをご覧ください。



■問い合わせ 合同会社K.O.H.(☎41-6616 ☎29-6816 ✉info@koh.sport)